

全木連時報

5月25日(水曜日)
(第638号)(毎月25日発行)
平成23年(2011年)

発行所
社団法人 全国木材組合連合会
尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

全木連・全木協連・木退共通常総会

震災復興に向けて特別決議を採択



東日本大震災見舞金御礼

会員の皆様にお願ひして取り組んできた東日本大震災見舞金につきまして、会員各位の絶大なご協力により多くの募金が集まりました。この見舞金は、被害の大きかった岩手、宮城、福島、青森、茨城の各県木連にお届けしました。

目次
一面 全木連総会開催 特別決議を採択
二面 全木協総会開催 木退共総会開催
三面 全木連会長総会挨拶
四面 景況調査

第七十回全木連通常総会、第五十一回全木協連通常総会、第三十九回木退共通常総会が五月十一日、東京・港区のメルパルク東京を会場に、全国から会員多数が出席して開催された。総会には林野庁の皆川芳嗣長官をはじめ関係幹部、また、林業関係団体幹部が来賓として出席し祝辞が述べられた。特に、全木連の総会では、議事の前に「東日本大震災」からの復興に向けて別項の特別決議を宣言決議し、一致結束して震災復興に取組むことを確認するなど重みのある開会状況であった。この中で総会の議事は順調に進み、所定の議案を滞りなく審議のうえ承認・決定して閉会した。

全木連通常総会

全木連の総会は、午後一時から開会。開会に先立ち、三月の大震災により、多くの失われた命に黙祷を捧げた。開会のことばを樋口副会長が述べたあと、並木会長が別項の挨拶を行った。つづいて、来賓の皆川林野庁長官から祝辞を受け、司会から出席の来賓を紹介。この後、東日本大震災に関連して緊急に特別決議の提案があり、この後、議事に入った。議事は、並木会長が議長となり、第一号議案の平成二十二年度事

業報告承認の件、第二号議案の平成二十二年収支決算承認の件については、事務局説明のうえ、齋藤晴秀監事が監事を代表して監査報告し、原案のとおり承認された。

第三号議案平成二十三年度事業計画決定の件、第四号議案平成二十三年度収支予算決定の件、第五号議案平成二十三年度会費決定の件、第六号議案平成二十三年度借

入金最高限度額決定の件は、事務局説明のうえ、原案のとおり決定された。

特別宣言決議

役員は、監事の竹内福治氏(全天連)にかわり海老原光男氏を選任した。

次いで、事務局より、東日本大震災見舞金について報告。最後に、田中副会長が閉会のこ

とばを述べて閉会した。

未曽有の大災害となった「東日本大震災」により、被災地域、被災者そしてわが国の経済社会は極めて深刻な事態に直面しており、その復旧・復興のため国を挙げて取り組んでいかなければならない。

木材は、大震災の復旧・復興のための仮設住宅や住宅等建築物、災害復旧工事などに不可欠な資材であり、木材業界はその安定的な供給を図る重要な責任を担っている。

社団法人全国木材組合連合会は、本日ここに、国、関係行政機関、林業木材・建築関係団体と連携協力し、木材の需給安定、木材産業関連の復旧・復興のため、会員の英知、行動力を結集して次の事項に全力を挙げて取り組んでいくことを宣言する。

1 復旧・復興に不可欠な木材・木質資材の需給・価格安定などに木材関連業界挙げて取り組む。

2 大震災、原発事故に伴う被害木材関係事業者に対して、その

平成二十三年五月十一日
社団法人全国木材組合連合会

全木協連通常総会

全木協連の通常総会は、午後三時四十分の開会した。

会議は、開会の辞を横田副会長が述べて始まり、まず、吉条会長の挨拶があった。

次いで、来賓の林野庁沼田正俊次長から祝辞が述べられた。

議事は、吉条会長が議長となり進め、①平成二十二年事業報告承認の件②平成二十二年決算及び損失処理案承認の件を事務局から説明のうえ、長浦慎一監事が代表して監査報告を行い、承認した。

木退共通常総会

木退共の総会は、午後二時四十分に行われた。

議案の①平成二十二年事業報告承認の件②平成二十二年収支決算承認の件は、事務局説明の後、山口武夫監事が代表して監査報告

来賓祝辞のポイント いずれも震災復興が第一

皆川林野庁長官

宮城にも足をはこんだ。大変悲惨な状況である。木材業界には、木材をフル活用したコンパクトな街づくりも考えられる。海岸林は、津波の減衰効果があったのではない

沼田林野庁次長

被災地に行き、テレビで見るとは違う。工場施設の復旧費用等補正予算化した。海岸林の再生も考えていきたい。公共建築物木造化については、昨日、木造の技術基準が出された。政策も今までとは違ってくるのではない

企業経営に安心を提供します
全木連グループの各種保障制度
おかげさまで35年
中型グループ

従業員のために 中型グループ 経営者のために 総合保障プラン	総合賠償補償制度 第三者への事故対策に
	任意労災保障制度 労働災害への対策に
	木退共 従業員の退職金の準備に

などの備えに
 ケガ・病氣入院
 全国木材協同組合連合会
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
 TEL 03-3580-3215(代)

全木連総会での並木会長挨拶



社団法人全国木材組合連合会第七十回総会の開催に当たり一言挨拶申し上げます。

皆様方には、ご多用にもかかわらず、遠路ご参集いただき感謝いたします。また、林野庁の皆川長官、独立行政法人農林漁業信用基金の辻副理事長はじめ多くの友好団体の皆様方には公務ご多端の中、ご列席を賜りありがとうございます。お礼申し上げます。

力を挙げて取組まれています。早期の復旧・復興を心から願います。次第であります。全木連としても、今後とも会員各位と力を合わせてこの問題の対応に取り組み、とりわけ復旧・復興の重要な木材である木材の需給安定、被災木材事業者の応急復旧や本格再建対策などの緊急課題に積極的な活動を実施する覚悟であります。

木材業界の動向でございますが、昨年の新設住宅着工戸数は景気の低迷・不透明感、雇用不安等により八十一万三千戸（前年比一〇三%）と低調にとどまりました。夏以降に国産材を中心として需要増、価格の上昇など一部明るい兆しも見受けられましたものの、全体としては引き続き厳しい事業環境下にございました。我々木材業界の緊急かつ最大の課題は、何と云っても木材需要の拡大であります。この一年の間、我々は「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」の実現に向けて、住宅や公共施設・商業施設等への木材利用拡大、木材産業の業況改善・体質強化などについて、関係諸対策の拡充や業界自身の意欲的取組みなど活動を強化してきました。特に木材利用に関する制度・政策面で大きな動き・成果がありました。一つは「新成長戦略」における森

林・林業・木材利用の明確な位置づけで、国家プロジェクトに森林・林業再生プランや再生可能エネルギーの普及拡大などを掲げられています。林野庁は十一月に木材自給率五十%を目標として「森林・林業の再生に向けた改革の姿」を取りまとめ、森林林業の集約化や効率的な加工・流通体制づくり、木材利用の拡大などの施策展開方向を明らかにしました。そしてまた、木材業界が長年切望してきた「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が、昨年五月に与野党一致して成立し十月に施行されました。住宅建築関係にありましても、地域材利用の住宅振興対策の拡充が大幅に強化されています。

こうした制度・施策の拡充は木材利用の理解促進の前進につながるものであり、そして木材業界の維持発展に資するものであります。政府関係者、国会議員の皆様方に感謝申し上げます。

しかし制度・施策が「活き活き」と動いていくためには、木材業界自身の、コスト、品質に優れた木材製品供給、JAS・乾燥材の供給、一般消費者・建築関係者との連携促進による木材利用提案活動などに、限らない努力を重ねていくことが不可欠であります。本年は、国際森林年とされており、木材利用の理解をさらに深化できる良い機会でもあります。景気動向は、東日本大震災の影響により当面厳しいことが予想されますが、木材・国産材の利用の高まりを現実の木材消費に結びつけ、木材産業の明日の展望を切り拓いていく必要があります。全木連としても全力を挙げて諸活動に取組んでいく考えであります。

本日の会議は、平成二十二年度の事業報告と収支決算、平成二十三年事業計画と収支予算が主たる議題であります。限られた時間ではあります、十分なるご審議をお願いいたします。最後に、会員各位の大震災見舞金のご協力にお礼申し上げます。そして会員各位のご繁栄とお集まりの皆様のご健勝をご祈念申し上げます。有難うございました。

面厳しいことが予想されますが、木材・国産材の利用の高まりを現実の木材消費に結びつけ、木材産業の明日の展望を切り拓いていく必要があります。全木連としても全力を挙げて諸活動に取組んでいく考えであります。

本日の会議は、平成二十二年度の事業報告と収支決算、平成二十三年事業計画と収支予算が主たる議題であります。限られた時間ではあります、十分なるご審議をお願いいたします。

最後に、会員各位の大震災見舞金のご協力にお礼申し上げます。そして会員各位のご繁栄とお集まりの皆様のご健勝をご祈念申し上げます。有難うございました。

（林野庁関連支援策）
①木材加工流通施設等の廃棄・復旧・整備
②木材加工流通施設の廃棄・復旧・整備

東日本大震災で被災された合板、製材等木材産業の皆様へ 第一次補正予算事業のご案内

- ◎仮設住宅等への復旧資材確保のために、被災した製材・合板製造工場等の施設で、早期に稼働開始できる場合に、廃棄・復旧・整備に必要な経費を支援します。
- ◎国は、事業費の1/2を補助します。
- ◎支援を希望する方は、都道府県林務担当課のほか、林野庁木材

木材産業界独自の退職金共済制度

ご加入のおすすめ

(社)木材産業退職金共済会

- ◎一次補正予算に五十三億円（内数）を計上して実施します。
- ◎原木の流通コスト等支援
- ◎仮設住宅等への復旧資材用の木材確保のため、被災工場に在庫原木や、被災工場に出荷していた地域の原木等を被災している工場に出荷する場合等の流通経費を支援します。
- ◎国は、被災工場・素材生産地か

景況調査=全木協

23年4月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数84 回答数55 回収率65%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

Table with 4 columns: Item, Strong, Stable, Weak. Rows include 3 months later market expectations for Rice, South Sea, North Sea, Domestic, and Building materials.

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Row: Drying material transaction frequency.

〔製造部門〕

モニター数106 回答数63 回収率59%

当月の状況

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

来月の見通し

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include Sales Volume, Sales Quantity, Sales Price, and Purchase Price.

Table with 4 columns: Item, Strong, Stable, Weak. Rows include 3 months later market expectations for Rice, South Sea, North Sea, and Domestic materials.

プレカットの動向

Table with 4 columns: Item, 1 month or less, 1 month, 1 month or more. Row: Waiting time after order and processing.

ら製材工場等までの距離に応じ... 支援を希望する方は、都道府県... 国は、事業費の1/2を補助し...

林務担当課のほか、林野庁木材... 一次補正予算に六億円(内数)... 災害復旧関係資金利子助成事業...

一次補正予算に五億円を計上し... 林業者・木材産業者が、震災の... 保証料無料で一〇〇%の債務保証...

『東日本大震災復旧緊急保証』の受付が始まりました。

この度の東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金
震災復興に係る仮設住宅など資材供給の円滑化のために必要な運転資金・設備資金

詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: http://www.affcf.com

